

映画史上最大のスペシャル・イフェクト/11大見せ場をぶち抜く45000発の銃弾に1人で挑む凄腕!



CLINT EASTWOOD
is the man in the middle of
THE GAUNTLET



《ダーティハリー》を超えた
新シリーズに挑む

クリント・イーストウッド

4chステレオ・サウンド
デラックスカラー
バージョン

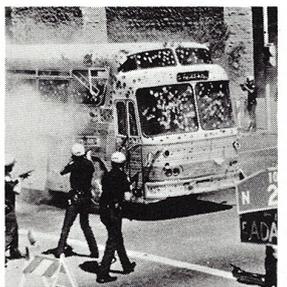
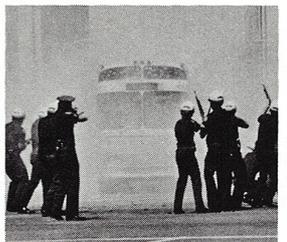
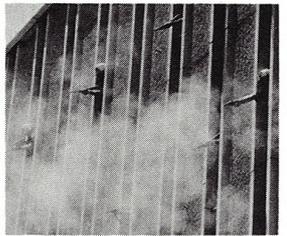
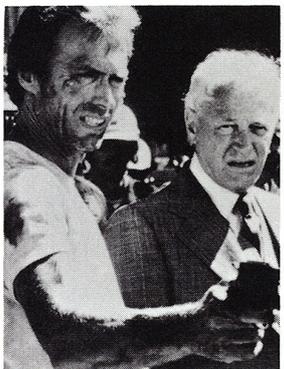
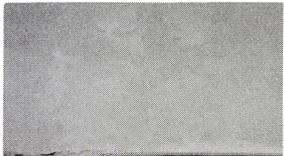
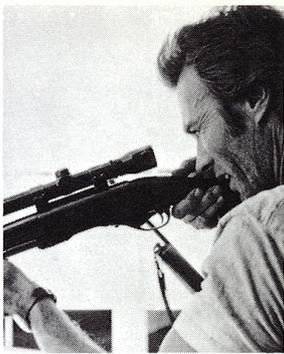
ガントレット

ソンドラ・ロック / バット・ヒンゲル / ウィリアム・プリンス

監督クリント・イーストウッド / 製作ロバート・デリー / 脚本デニス・シュレーアック & マイケル・バトラー / 音楽ジェリー・フィールドینگ / マルバイン・カンパニー作品 / ワナー・ブラザーズ映画 From Warner Bros. A Warner Communications Company

クリント・イーストウッド

ガントレット



◆遂に《ダーティハリー》を超えた!

刑事アクションと言えば「ダーティハリー」。「ダーティハリー」と言えばクリント・イーストウッドというように、今やその代表作「ダーティハリー」シリーズで押しも押されぬ世界のNo.1アクション・スターの地位を不動のものとしているクリント・イーストウッドが、「ダーティハリー」を超える刑事アクションを作ると発表して話題を集めたのがこの「ガントレット」だ。事実、そのスケールの大きなアクションの面白さは抜群で、「ダーティハリー」に続き、イーストウッドの新シリーズとなることはまちがいないさそうである。

◆燃えるイーストウッド＝全力投入!

並々ならぬ彼の決意のほどは、その製作費に顕著に現われている。この手の映画としては破格の22億円という製作費は、「ダーティハリー」シリーズを含んでこれまで彼の主宰するマルパソ・プロが製作した最高の額である。中でも特筆すべきはその内の3億6千万円が特殊効果に使われていることである。映画の中には、8千万円もかけ多くのスタッフが一月がかりで作ったセットをわずか数分でブチこわしたり、一瞬にして数百万円がフツ飛ぶといったシーンが連続しており、イーストウッドも体当

◆凄く迫力! 11大見せ場の連続!

イーストウッド監督と製作者のロバート・デイリーは、スケールの大きな見せ場で「ダーティハリー」を圧倒しようという事で見が一致。「激走/5000キロ」「エクソシスト2」などを手がけている名手チャック・ギャスパーに特殊効果を担当させ、映画のハイライトとなる3大シーンはじめ、全篇11大見せ場の連続に、何と4万5千発もの銃弾を使ったというから、ヘタな戦争映画などぶっ飛んでしまうような迫力である。中には1秒間に60発以上の弾丸を3分間も撃ち続けるシーンが①イーストウッドとソンドラ・ロックのいる家を銃で崩壊させるシーン。②パトカーめつた撃ち。③ラスト、大型バスで突き進むイーストウッドに浴びせる数百人の警官の一勢射撃、の3カ所もあり、他にもオートバイとヘリコプターの追撃戦、時限爆弾、暴走族と見せ場はふんだん。しかもワーナー映画独自の4CHステレオ・サウンド方式を使っているから、まさに迫力満点のアクション巨篇となっている。

◆巨大な悪に敢然と挑んだ二人の男...

フェニックス市警の警官ベン・シヨックリー(クリント・イーストウッド)は、上司

のブレイクロックから、ある事件の重要参考人である「ガス・マリー(ソンドラ・ロック)」という女性を管割外のラスベガスから連行する任務を受けた。

早速ラスベガスに飛び、警察からマリーの身柄を引き渡され、フェニックスに向ったベンは、次々に得体の知れない男たちや、警官たちに襲われた。マフィアに襲われるのはわかるが警官にまで追われるのは何故なのか?彼は奪ったパトカーの警官の口から以外な事を聞いた。彼が警官殺しの罪で指名手配されているというのである。恐るべき畏が巨大な敵によって仕掛けられていたのだ...

◆ズラリ揃えた豪華なキャスト・スタッフ

僚友ロバート・デイリーを製作にイーストウッド自らが監督、新鋭デニス・シュレックとマイケル・パトラー書き下しの共同脚本をもとに雄大なマリゾナ、ネバダにロケしたレックス・メッツの撮影も壮観なら、「ワイルドバンチ」「ジョニーは戦場に行った」のジェリー・フィールディングが「アウトロー」「ダーティハリー3」に続いて迫力ある音楽を聞かせているのも話題の一つ。共演には「アウトロー」のソンドラ・ロック、「草原の輝き」のバット・ヒングル、他ウイリアム・プリンス、マイケル・カバナーなど一流の演技派があたっている。

12月17日(土)正月第1弾ロードショー

東銀座 松竹セントラル (541) 2714

●地下鉄東銀座駅前

●特別鑑賞券 ¥1000 (一般 ¥1300の処) 発売中!

日・祝及び1/2～1/4	10:00	12:20	2:40	5:00	7:20
平日		12:20	2:40	5:00	7:20